

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 23.2.24 第 177 回国会第 17 号

2月24日(木) 第17回の委員会が開かれました。

- 1 平成 23 年度一般会計予算  
平成 23 年度特別会計予算  
平成 23 年度政府関係機関予算
- ・片山総務大臣、江田法務大臣、前原外務大臣、野田財務大臣、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、海江田経済産業大臣、大畠国土交通大臣、松本環境大臣、北澤防衛大臣、枝野国務大臣（内閣官房長官）、与謝野国務大臣（社会保障・税一体改革担当）及び玄葉国務大臣（国家戦略担当）に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 近藤 三津枝君（自民）

- ・地球温暖化対策のために菅内閣総理大臣は一人当たりのCO2排出量を国際基準とするよう提唱しているが、松本環境大臣及び海江田経済産業大臣の賛否の程を伺いたい。
- ・地球温暖化対策基本法案において検討を進めることとされている地球温暖化対策税を同法案の成立前に所得税法等の一部を改正する法律案において規定することは問題であるとするのが野田財務大臣の所見を伺いたい。

## 下村 博文君（自民）

- ・世界華人保約連盟という団体が結成され、尖閣諸島への上陸を目指しているとの報道があるが、政府はこのような動きについてどの程度把握しているのか伺いたい。
- ・現在民間の所有者から賃借している尖閣諸島の国有化を進めて実効支配を強化すべきと考えるが枝野内閣官房長官の所見を伺いたい。

## 佐田 玄一郎君（自民）

- ・ハッ場ダム建設問題について、現場を視察した上での大畠国土交通大臣の所見について伺いたい。
- ・「ハッ場ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」における中間報告の判断基準に則って方針を定めることについて、大畠国土交通大臣の所見を伺いたい。
- ・ハッ場ダム建設を中止した場合の所要経費が、建設費を上回ることについて、所見及び代替案の検討状況を大畠国土交通大臣に伺いたい。

## 鴨下 一郎君（自民）

- ・鳩山前内閣総理大臣は、現行年金制度を「ぼろぼろ」と表現していたが、菅内閣においてもこの考え方を踏襲するのか。
- ・自民党を除名された与謝野社会保障・税一体改革担当大臣が、国会議員を辞職せず社会保障・税一体改革の担当者となっていることに問題はないのか。
- ・国民年金第3号被保険者の第1号への切替え漏れに対する厚生労働省の救済策について、総務省の年金業務監視委員会が公平性の点から疑問を示しているが、政府として、切替え漏れ問題に対する統一見解を早急に示すべきではないか。

## 高橋 千鶴子君（共産）

- ・イレッサ訴訟に対する取組姿勢について、細川厚生労働大臣に伺いたい。
- ・イレッサの副作用について、当時の情報提供は不十分だったのではないか。
- ・B型肝炎問題に対し、除斥期間の課題解決に向けた江田法務大臣の決意と、問題の早期解決に向けた細川厚生労働大臣の決意を伺いたい。

## 遠藤 乙彦君（公明）

- ・平成 23 年度特例公債法案が年度内に衆議院で可決できない場合は、平成 23 年度予算の全面的な組替えが必要なのではないか。
- ・高速道路の全面無料化の実現及び継続は、財源が不足していることから難しいのではないか。
- ・我が国の成長のためには、技術革新に限定しないイノベーションを伴った経済政策が重要なのではないか。

## **吉 泉 秀 男君（社民）**

- ・上関原発建設工事を停止するよう海江田経済産業大臣から指導することはできないのか。
- ・新規学卒者の就職を支援するための施策に力を入れる必要があると考えるが、高木文部科学大臣の決意を伺いたい。
- ・ハローワークでの正規職員募集が4割を切っている現状について、細川厚生労働大臣の認識を伺いたい。

## **柿 澤 未 途君（みんな）**

- ・国の出先機関の原則廃止に係るアクション・プランと地方による受入れについて、片山総務大臣の所見を伺いたい。また、地方の意向はどのように踏まえるのか。
- ・国の総人件費2割削減の達成の方策及び見込みについて伺いたい。
- ・リビア情勢における邦人保護についての対応状況について前原外務大臣に伺いたい。